

自教労働者

東京自動車教習所労働組合機関紙

発 行 者

東京自動車教習所労働組合

〒110-0003東京都台東区根岸4-11-10

TEL 03-3871-6470 Fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyoo.or.jp

URL <http://www.toujikyoo.or.jp>

五月晴れの下中央メーデー開催



南部の先頭を行く東自教のデモ行進

まさに“五月晴れ”となった5月1日、代々木公園で第86回中央メーデーが開催されました。今年のメーデーには約2万7千人が参加(主催者発表)、東自教からは95人の仲間が職場を代表して参加しました。

今年のメーデーは、集团的自衛権と安保法制(日米防衛協力指針改定)、環太平洋パートナーシップ協定問題(TPP)等、日本の将来を左右する政治課題がいくつもあり、政治色の強い集会となりました。

集会は、主催者挨拶、来賓挨拶、青年代表、平和団体等から決意表明がありました。が、はじめて沖縄・辺野古新基地建設反対を訴える沖縄県代表の方の決意表明が大きな共感を呼んでいました。

東自教の参加者の皆さんは、八王子中央支部が用意してくれたビール片手に集会挨拶を聞きながら、支部間の交流を深めてい

ました。

集会は予定通り12時に終了してデモ行進に移り、東自教は恵比須まで約2・7キロを南部実行委員会の先頭に立って行進しました。

日本のメーデーも86回を数えるまでの歴史を刻んできましたが、参加者が減少しており、かつては会場に入りきれないほどの参加者で埋め尽くされた代々木公園も空き地が目立つようになってきました。労働組合の組織率が低下し続けていることと無関係ではありませんが「参加することが楽しみ」という構成・運営を工夫することが必要な時代となっています。



五月晴れの下で交流する写真上は中央支部、下は新東京支部の仲間



東自教の15春闘は、5月1日現在11支部が妥結、7支部が未解決で5月決着を目指して奮闘しています。(写真は屋上に赤旗腕章闘争を行う妥結した支部中央・王子・豊八王子中央・流前年同額・増の出していますが、前年減となった支部もあります。)

春闘情報

【回答・妥結状況】

妥 中央支部	7, 120円
妥 王子支部	9, 560円
妥 新東京支部	2, 000円(別途格差是正実施)
妥 町田支部	2, 400円
新賃金者	5, 003円
一時金年間	754, 000円
足立支部	3, 200円
一時金年間	984, 000円+α
妥 豊島支部	4, 000円
妥 小金井支部	6, 440円
夏季一時金	600, 000円
妥 八中支部	8, 112円
妥 金町支部	3, 800円
妥 越谷支部	3, 800円
年間一時金	1, 120, 000円
妥 寄居支部	5, 000円(50歳未満)
妥 流山支部	1, 800円
妥 日通労組	3, 400円

14年5月1日に、教習簿への記載忘れを理由として2階級降格、営業異動、資格解任等の不当処分を受け、撤回を目指してたたかってきた流山支部・中村副支部長の処分撤回闘争は、15年4月2日の労働委員会と和解が成立し解決しました。

不当処分が出た後の14年6月23日に救済申し立てを行い、2回の審問が15年2月24日で結審し、3月18日から労働委員会の慣例により第1回和解交渉に移り、労働委員会として「和解の可能性が感じられる」として4月2日に第2回和解が行われ、「5月1日から指導員に戻す」ことを柱とした和解となったものです。

労働委員会は和解しましたが、講習時の残業カット問題は未解決で裁判が続いています。

労働委員会合意事項要旨

- 1、会社は中村組合員を5月1日から教務課に異動させる。
- 2、会社は解任時の賃金減額分を支払う。
- 3、会社は今後の勤務態度等を考慮し、適当と判断した場合に昇格させる。
- 4、懲罰委員会設置についての団体交渉を行う。

労働委員会は和解成立・流山支部

東自教の仲間、職場の仲間のご支援によって、5月1日から教習業務に復帰しています。不当処分を受けてからちょうど1年になり

ますが、仲間というもののありがたさをつくづく感じています。仲間の皆さん、本当にありがとうございました。

流山支部・中村年伸



そのときは遅かった

「ナチスが共産主義者を攻撃したとき、自分は少し不安であったが、とにかく自分は共産主義者でなかった。だから何も行動に出なかった。次にナチスは社会主義者を攻撃した。自分はさらに不安を感じたが、社会主義者ではなかったから何も行動にでなかった。それからナチスは学校、新聞、ユダヤ人等をどんどん攻撃し、自分はそのたびにいつも不安を感じましたが、それでもなお行動に出ることはなかった。それからナチスは教会を攻撃した。自分は牧師であった。だからたって行動にでたが、そのときはすでにおそかった。」(ドイツのルター派神学者の「告白」。牧師は第一次大戦に潜水艦艦長として従軍している。ヒトラーの教会支配に対する抵抗運動の指導者として活躍したが逮捕され強制収容所にいれられ、第二次大戦後解放された。)

沖縄の米軍キャンプシュワブ基地前では、辺野古への新基地建設に反対して連日、座り込みが行われている。座り込みの参加者の一人が次のように述べている。「移設反対の民意が無視され、民主主義がないがしろにされようとしている。これが許されれば沖縄以外の場所でも同じことが起こる。本土の人たちも『沖縄の問題』として移設問題を片付けるのではなく、自分たちの問題として考えてほしい。(毎日新聞「記者の目」に掲載)」

近づく戦争の足音

4月28日、米国を公式訪問中の安倍首相は、「日米同盟を世界を対象とする軍



時事

事同盟として発展させる」ことに合意し、今年夏までに集団的自衛権を柱とした安保法制を成立させ、辺野古に新基地を建設することで合意した。日本の国会では、これから安保法制の議論がはじまるというのである。安倍首相の発言は、「強行採決もありうる」との宣言に他ならない。

今なら止められる

沖縄からの血を吐くように訴えに、私たちはどんな答えをだすのだろうか。日本国民として、沖縄の基地の歴史を理解する必要はないのだろうか。

日米軍事同盟が、アメリカと一緒に戦争をすることを可能とする段階に来ているのに対し「日本の平和と民主主義を守る」ことを方針に明記している労働組合は、何も行動しなくてよいのだろうか。

全労連が、沖縄に激励団を送る活動を始めていると聞いて「日本の労働組合も捨てたものではない」と日本の将来に「かすかな灯り」を感じる。

東自教でも、5月26日、27日に自費で沖縄の座り込みを激励に行く人たちがいる。口を揃えていうのは「戦争反対、仲間の苦しみを放っておいてはいけないという自分の信念が本物であることを、自分で確かめたい」と。

繁忙期の打ち上げ慰労会



八王子中央支部では、2月から組合員が休暇取得を自粛して予約枠を確保し、優先予約を受け付ける等の繁忙期対策を実施してきました。繁忙期対策を講じることによって、稼働を大幅に向上させ売り上げ増をはかることに成功しています。これら労働組合が行なっている職場政策は、会社側に主張すべきことは主張し、春闘の要求を前進させることができる大きな要因の1つであることには間違いないと確信しています。15春闘でも、8,812円の賃上げを獲ちとることにつながったと思います。

3月29日には、2月からの2ヶ月間の組合員の皆さんの協力に感謝する「お疲れさん会」をりましたが、打ち上げのお酒が美味しかった（^^）ことはいうまでもありません。（八王子中央支部・中島組合員通信）

今年は豊島の大会でした

12支部47人の参加で、4月20日、東自教第29回ボウリング大会が行われました。会場は、いつもの王子サンスクウェアボウル。集合時間の10時には、マイボウルをボウルバックに入れて「優勝を狙う」人、すでに一杯入って「参加を楽しむ人」等が集合し、「それぞれの目的達成」に向けた大会がスタートしました。



今年の大会は比較的ストライクの出が悪かったようで、歓声の声も縮みがちでしたが、それぞれのスタイルで2ゲームマッチを楽しんでいました。

団体・個人の連覇を狙った中央支部は、柱となるはずの渡辺さんの調子が今いちで、個人戦優勝を逃し団体戦も3位にとどまりました。その一方、小林さんがベストスコアを出して奮闘した豊島支部(写真)が団体・個人戦を制しました。なんとなく八王子中央支部が飛び賞を多く獲得していたような印象の大会でした。

【団体戦】

優 勝	豊島支部A	1250ピン
準優勝	王子支部B	1220ピン
第3位	中央支部	1215ピン

【個人戦】

優 勝	小林 雅人	豊島支部	352ピン
準優勝	古瀬 晃男	八中支部	327ピン
第3位	吉河 謙	王子支部	325ピン